

「豊かなまち創出協議会」 の活動をご紹介します



詳細／住んでみたいまちづくり課移住定住係（市役所 2 階 ☎23-3331 内線218・219）

豊かなまち 創出協議会とは

伊達市では、少子高齢化が進む中で、安心・安全に暮らせるまちづくりと地域の活性化を目指した「伊達ウエルシールド構想」に取り組んでいます。この取組を進める中心組織が「豊かなまち創出協議会」。民間と行政のメンバーが協働して活動するボランティア組織として平成16年5月に発足し、平成20年4月から現在のメンバーでの取組をはじめました。様々な職種から集まったおよそ40名のメンバーが3つの部会に分かれて活動に取り組んでおり、今回は協議会の活動状況をご紹介します。

一緒に活動してみませんか

協議会では、今後、事業のご協力依頼やイベント実施など、いろいろな形で皆さまと関わっていきたく考えていますので、ご協力よろしくお願ひします。

また、協議会メンバーへの参加も随時受け付けていますので、ご興味のある方はお気軽にお問ひ合せください。

会長より皆さまへ

協議会会長

川南 忠士さん



当協議会では、「地域の将来をリードするのは我々の責務である」。

こんな想いを持った30〜40代を中心とする市内の若手経済人が自主的に集い、このまちの将来について市若手職員と一体となって真剣に議論を重ねています。

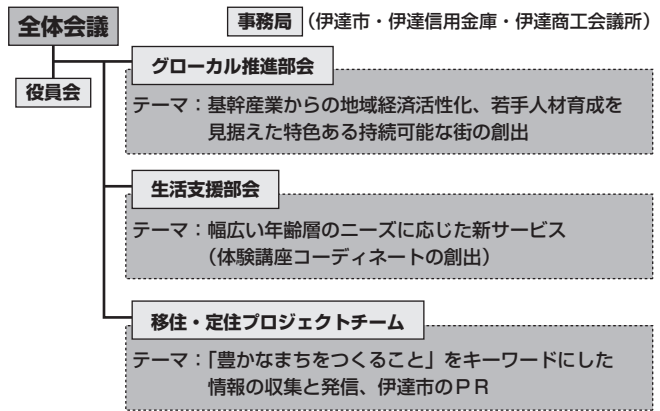
その内容は一次産業の再生から新たな生活産業の創出、地域情報の発信と多岐に渡りますが、どの部会にも共通している想いは「このままでは地域が成り立たなくなる」という危機感です。

若者らしい発想と感性、そして行動力で、時代と環境の変化に対応した仕組みづくりを進め、豊かなまちを実現して参ります。

<活動風景（全体会議）>



<協議会組織図>



夢のある基幹産業からの経済の活性化と、若手人材育成を見据えた特色ある持続可能なまちの創出を目指して取り組んでいます。伊達の基幹産業である一次産業をベースとした豊かなまちを今後も維持して行くため、地域の特色を活かした自立した経済を推進して行くことを考えています。当面は農業を主体に捉え、このまちで栽培されている野菜をまず知ることを手始めに、伊達野菜の情報収集と、その後の活用を検討していきます。部会員のほとんどが営農知識のない中での活動ですから、見るもの・聞くもの全てが新鮮な情報です。当たり前前の裏側にある、的外れな意見の中から逆転の発想でアイデアを見出し、営農者の方の意見もいただきながら、共に活動して行きたいと思えます。



部会長
西條 晴彦さん

グローバル推進部会

生活支援部会では、日常の生活をより豊かなものにするビジネスモデルの創出を目指し、いつでもどこでも・楽しく学ぶ(活動することのできる体験講座コーディネーター事業「みんなでチャレンジ伊達のYAGAKU」の構築を進めています。YAGAKUの「YA」は、夜間・家・屋内・野外などを示し、「GAKU」は、学ぶ・楽しいを意図したもので、幅広い年齢層が集い、共に学び、活動する喜びを分かち合いながら、様々な人との交流の場を生み出すことを目指し取り組んでいます。今後、市民の皆さんからのアイデアの公募や講座、イベントの実施などを行いながら、皆さんと共に事業を形作っていききたいと思います。



部会長
井餘田 浩司さん

生活支援部会

「伊達の情報発信」をテーマに活動を進めています。「情報の収集と発信」をキーワードに、まずは地域のお役立ちアイテムとして「食を中心としたマップの作成」に取り組んでいます。移住体験・セカンドライフ・二地域でのライフスタイルを伊達に選択された方や観光などで来伊された方、市民の方にもご活用いただけるものを目指しています。また、協議会の宣伝も当部会の重要な役割です。様々な機会を通じて皆さまに活動をPRしていきたいと考えています。さらには、食をテーマにした新しい取り組みの検討も進めており、一緒に活動できる仲間の環を広げてゆきたいと思っています。



部会長
望月 孝一さん

移住・定住
プロジェクトチーム